

市 民 提 案

提案名	緑化募金を利用した、市北部での砂糖カエデ栽培とメイプルシロップ作り
提案の提出日	平成30年5月7日
提 案 内 容	
〔提案の目的〕 景観づくりの紅葉植栽を兼ねつつ、寒冷地（冬の終わり夜－4℃・昼4度～9℃）でしか出来ない産物を作る。 〔提案による効果〕 栽培者自身または請負者が砂糖カエデの樹液採取・加工を行うことで、メイプルシロップによる地域の賑わい、栽培者の収入、観光に役立てることができる。 〔提案に伴う費用〕 苗木費用は緑化募金を利用。採集可能となる15年後に行う樹液の採集費用は安価なので採取者負担。 〔提案の実施に伴う市民の関わり〕 普通のもみじに混ぜて砂糖カエデを植え付ける。希望者は無料で樹液採集・加工を行う。 〔その他特記事項〕 市民がメイプルシロップ作りを楽しめるとともに、神戸などの洋菓子業界と連携すれば実利が大きなものになる。緑化募金で植えられるもみじに種類を一部変えるだけなので、何の労力も費用もかからずに取り組みます。	
市 の 回 答	
回答日	平成30年6月6日
提案の「サトウカエデ」栽培につきましては、旧波賀町の地域活性化事業で平成7年度～平成12年度にかけて波賀町上野東山「フォレストステーション」周辺市道及び敷地内に植栽しており、条件差がありますが、かなり成長している樹木もあります。 つきましては、後藤氏に一度樹木をご覧いただき、可能であれば来冬に樹液採取の実証実験を実施したいと考えております。 その結果も踏まえ、市の「日本一の風景街道づくり事業」へのアプローチなどの検討を考えます。 また、既存の支援事業（ふるさとの森づくり事業、遊休農地の再生事業など）、および自治会を対象とした緑化募金を活用したサトウカエデの植栽のPRについても、検討したいと考えます。	